令和5年9月1日

防災の日 校長講和

皆さん、こんにちは。　校長の金川です。

先ほど、避難訓練を実施しましたが、全員が６分以内で避難を完了することが出来ており、

ふざけたりする人もなく、訓練に臨む姿勢も優秀でした。

実際に地震や火災が発生した場合でも、訓練通りに、避難することが大切です。

落ち着いて対応できるようにしていきましょう。

さて、本日　９月１日は、防災の日です。今年は、関東大震災の発生から１００年目になります。

関東大震災は、1923年9月1日に発生した、マグニチュード7.9の巨大地震です。

東京、神奈川県、千葉県を中心に、関東地方を中心に大きな被害をもたらしました。

死者・行方不明者は約10万5千人、被災者は約105万人にのぼり、日本の近代史上最悪の災害となりました。

私たちは、この日の大きな災害を、忘れないように、しなければなりません。

そして、この日の大きな被害を、無駄にしないように、しなければなりません。

今を生きる私たちが、この災害を教訓にして、大切な命を守るためには、どんなことがあったのかを、知っておく必要があります。

そのためにも、今日は、関東大震災について話をしたいと思います。

関東大震災の被害は、大きく分けて４つありました。

1つ目は、火災による被害です。

地震による停電やガスの漏れなどによって、大規模な火災が発生し、多くの人が焼死しました。

2つ目は、建物の倒壊による被害です。

関東地方の建物は、耐震性が十分に確保されていなかったため、地震によって倒壊し、多くの　人が下敷きとなりました。

3つ目は、津波による被害です。

関東地方の太平洋岸では、津波が押し寄せ、多くの人が命を落としました。

そして、４つ目として、皆さんにお話したいのは、フェイクニュースです。

関東大震災の混乱に乗じて、さまざまなフェイクニュースが流布されました。

例えば、震災は、アメリカの暗殺者によって引き起こされた。

例えば、震災は、中国や韓国によって引き起こされた。

例えば、震災は、政府の陰謀によるものである。

これらのフェイクニュースは、被災者の混乱と不安を煽り、社会不安を助長し、暴動や、傷害事件や殺人事件などが発生しました。その結果として、命を落とした方も出てしまいました。

フェイクニュースは、災害時には特に注意が必要です。災害時に流れるフェイクニュースは、　次のようなものが多いことを知っておいてください。

・避難所や給水所などについてのニセ情報、

・被災者の状況などについてのニセ情報、

・災害の原因などについてのニセ情報

これらの情報を鵜呑みにせず、信頼できる情報源から、正しい情報を得ることが大切です。

また、フェイクニュースを拡散しないことも大切です。

フェイクニュースを拡散すると、災害に遭った人やその家族にさらに大きな苦しみを与えることになります。

本日、避難訓練を実施しましたが、避難を開始する前に、どこで、何が起きているのか、

どのルートを使って避難するのかなど、正確な情報を得ることが出来ていましたか。

一人一人が正確な情報を持ち、落ち着いて対応することも大切です。

関東大震災から100年近く経った今でも、これらの教訓は色褪せていません。

私たちは、いつまた大きな災害が起こるかわからないという危機感を持ち、

日頃から防災対策をしておくことが大切です。

自分の住んでいる地域の災害リスクを把握しておきましょう

避難所や避難場所を決めておきましょう

家族や友人と災害時の連絡方法を決めておきましょう

非常食や飲料水、懐中電灯などの備蓄をしておきましょう

地震や津波などの災害に関する知識を身につけておきましょう

そして、正確な情報を得て行動するように心がけましょう。

最後に、私たち一人ひとりが、助け合いの精神を持って、災害に備え、

災害に遭った人を支えていくことも大切です。

今日は、関東大震災について話をしました。

関東大震災の教訓を忘れず、一人ひとりが防災意識を高め、災害に備えていきましょう。